

水銀排出施設設置~~（使用、変更）~~届出書

〇年 〇月 〇日

沼津市長 〇〇 〇〇 様

〒〇〇〇-〇〇〇〇
 フリガナ ヌマヅシミュキチョウ
 届出者 住所 沼津市御幸町 16 番 1 号
 カブシキガイシャ 〇〇〇
 株式会社 〇〇〇
 フリガナ ダイヒョウトリシマリヤクシヤチョウ
 氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇 印

大気汚染防止法第 18 条の 23 第 1 項~~（第 18 条の 24 第 1 項、第 18 条の 25 第 1 項）~~の規定により、水銀排出施設について、次のとおり届け出ます。

フリガナ	カブシキガイシャ 〇〇〇 ヌマヅコウジョウ		
工場又は事業場の名称	株式会社 〇〇〇 沼津工場	※整理番号	
フリガナ	ヌマヅシ〇〇チョウ		
工場又は事業場の所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇〇番地	※受理年月日	年 月 日
水銀排出施設の種類	8. 廃棄物焼却炉	※施設番号	
水銀排出施設の構造	別紙 1 のとおり。	※審査結果	
水銀排出施設の使用の方法	別紙 2 のとおり。	※備考	
水銀等の処理の方法	別紙 3 のとおり。		
参考事項			

- 備考
- 1 水銀排出施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行規則（以下「施行規則」という。）別表第 3 の 3 に掲げる項番号及び名称を記載すること。
 - 2 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格 A 4 とすること。
 - 5 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあつてはその代表者）が署名することができる。
 - 6 施行規則様式第 2 による受理書の写しを添付し、参考事項の欄に、当該受理書の受理番号及び受理年月日を記載する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第 13 条に規定する市の長が別紙 1～3 の全部又は一部を添付することを要しないと認めるときは、別紙 1～3 の全部又は一部を省略することができる。

水銀排出施設の構造

工場又は事業場における施設番号		1号炉	
名称及び型式		連続燃焼式焼却炉〇〇型	
設置年月日		〇年 〇月 〇日	年 月 日
着手予定年月日		〇年 〇月 〇日	年 月 日
使用開始予定年月日		〇年 〇月 〇日	年 月 日
規模	伝熱面積 (m ²)		
	燃料の燃焼能力 (重油換算 l / h)	1000/h	
	原料の処理能力 (t / h)		
	火格子面積又は 羽口面断面積 (m ²)	16.0 m ²	
	変圧器の定格容量 (kV A)		
	触媒に付着する 炭素の燃焼能力 (kg / h)		
	焼却能力 (kg / h)	6,000 kg / h	

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行規則別表第3の3の中欄に規定する項目について記載すること。
- 3 水銀排出施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本工業規格A4の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。ただし、施行規則様式第2による受理書の写しを添付する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第13条に規定する市の長が構造概要図を添付することを要しないと認めるときは、当該概要図の添付を省略することができる。

水銀排出施設の使用方法

工場又は事業場における施設番号		1号炉				
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	0時～24時 24時間/回	24時 28日/月	時～ 時間/回	時 回/日 日/月	
	季節変動	なし				
原材料 (水銀等の排出に影響のあるものに限る。)	種類	ごみ				
	使用割合	廃プラ:廃油:木くず:汚泥 = 3:3:1:3				
	原材料中の水銀等含有割合(%)	廃プラ: 0.2 mg/kg	廃油: 0.01 mg/kg	木くず: 0.3 mg/kg	汚泥: 0.02 mg/kg	
	1日の使用量	150t/d				
燃料 (水銀等の排出に影響のあるものに限る。)	種類					
	燃料中の水銀等の含有割合					
	通常の使用量					
	混焼割合					
排出ガス量 (Nm ³ /h)		湿り	最大 12,000	通常 10,000	最大	通常
		乾き	最大 10,000	通常 8,000	最大	通常
排出ガス中の酸素濃度(%)		10%				
水銀濃度 (μg/Nm ³)	全水銀	1.6 μg/Nm ³				
	ガス状水銀	1.5 μg/Nm ³				
	粒子状水銀	0.1 μg/Nm ³				
参考事項						

- 備考
- 1 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とし、平常時の平均的な濃度を記載すること。
 - 2 水銀濃度は、水銀等の処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。
 - 3 参考事項の欄には、水銀等の排出状況に著しい変動がある施設についての一工程の排出量の変動の状況、水銀等の排出のために採っている方法等を記載すること。

水銀等の処理の方法

水銀等の処理施設の工場 又は事業場における施設番号		系統 1			
処理に係る水銀排出施設の工場 又は事業場における施設番号		1 号炉			
水銀等の処理施設の種類、 名称及び型式		ろ過式集塵器〇〇型			
設置年月日		年 月 日	年 月 日	年 月 日	
着手予定年月日		〇年 〇月 〇日	年 月 日	年 月 日	
使用開始予定年月日		〇年 〇月 〇日	年 月 日	年 月 日	
処 理 能 力	排出ガス量 (Nm ³ /h)	湿り	最大 12,000 通常 10,000	最大 通常	
		乾き	最大 10,000 通常 8,000	最大 通常	
	排出ガス温度 (°C)	処理前	160°C		
		処理後	145°C		
	排出ガス中の酸素濃度 (%)		6.3%		
	水銀濃度 (µg/Nm ³)	全水銀	処理前	80 µg/N m ³	
			処理後	1.6 µg/N m ³	
		ガス状 水銀	処理前	5.0 µg/N m ³	
			処理後	1.5 µg/N m ³	
		粒子状 水銀	処理前	3.0 µg/N m ³	
処理後			0.1 µg/N m ³		
捕集効率 (%)	全水銀	80%			
	ガス状水銀	70%			
	粒子状水銀	97%			
使 状 用 況	1日の使用時間 及び月使用日数等	0時～ 24時 24時間/回 28日/月	時～ 時 時間/回 回/日 日/月		
	季節変動	なし			

- 備考 1 水銀排出施設において発生する水銀等を排出口から大気中に排出する前に処理するための施設（集じん機等）について、記載すること。
- 2 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 3 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 4 水銀等の処理施設の構造図及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。ただし、施行規則様式第2による受理証の写しを添付する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第13条に規定する市の長が当該構造図及び概要図を添付することを要しないと認めるときは、当該構造図及び概要図の添付を省略することができる。